

中古の LAN 端子用無線子機を利用する

メーカーのバッファローは LAN 端子用無線子機の全機種を販売終了にいたしました。しかし LAN 端子しか備えていないテレビやファックス、プリンターを無線 LAN に接続しなければならないケースも多々あるかと思われます。

こうした場合、ネットで入手出来るものは殆どが中古の LAN 端子用無線子機となります。つまりどこかの無線 LAN で親機と特定の接続設定をされて使用されていたモノだということ。

もちろん新しい無線 LAN の環境で、親機と子機の AOSS ボタンを押して再設定が出来れば一番よいのですが、それがうまくゆかない場合は次の手順で再設定が出来ます。

- 1 無線 LAN の親機を設定した PC に親機（もしくは購入した中古子機）に付属する CD から「LAN 端子用無線子機設定ツール」をインストールします。
このソフトが在る場所は「オプション」→「上級者向けインストール」です。

- 2 購入した中古子機を初期化します。やり方は中古子機の取説に記載されています。
この「設定初期化」の具体的な内容ですが：

現在使用中の WLI-TX4-G54HP の取説には「設定が初期化されます」としか書いてありませんが、WLI-TX4-AG300N では「※出荷時設定では無線親機と無線子機間の接続設定が完了した状態ですが、設定を初期化すると無線接続設定が削除されます」という注釈が記載されています。

- 3 中古子機の接続設定をします。

PC と子機を LAN ケーブルで繋ぎ、子機の電源を入れ、上記の設定ツールを起動します（ここでこの設定ツールが子機を認識出来なければ万事休す）。

設定すべきは次の 3 項目です：

- (1) 親機の SSID（親機の取説参照）
- (2) セキュリティーキーの暗号化方式の選択（親機の取説参照）
- (3) 親機のセキュリティーキー（親機の取説参照）

これらを設定すれば子機に接続設定が行われます。

接続設定が完了しても子機の AOSS ランプまたはセキュリティーランプが点灯しない場合は、点灯しなくても使用可能ですが、親機と子機の AOSS ボタンを押すとよいでしょう。

以上